

# 食を「包む」

食べることと、包むことは密接に結びついている。

たとえば、餃子に春巻、ロールキャベツにオムライス、お稲荷さんに海苔巻き。毎日の食生活を見回すだけでも、和洋中エスニックともに、包む料理は数多く存在する。

包むのは、料理だけではない。食をめぐるっては、何重にも包んで運び、包んで贈る文化や習慣がある。老舗の和菓子なら、ひとつひとつラップピングし、その個包装をまとめて美しい化粧箱に並べ入れた上で、さらに包装紙で包み、ひもを十字にかけて手提げ袋風呂敷に入れて、ようやく先様に届ける用意が整う。

食を包むラップピングやパッケージの文化は清潔で機能的、美しく目を楽しませるが、つねに過剰包装のリスクと、隣り合わせてもいる。

今号では、食のウチソト、食の周辺における「包む」文化の現在を見つめつつ、その可能性と問題点について、取り上げていきたい。



特集アドバイザー

藤本 憲一

(武庫川女子大学教授)



COVER

風呂敷で瓶を包む  
写真：アフロ